

第5回 下関市公共交通整備検討委員会

～ 3.必要施策(案)と具体的取組み内容～

平成29年8月31日

■必要施策(案)と具体的取組み内容

- 必要施策(案)に対して具体的取組みを検討

施策展開の方向性	施策	具体的な取組み 【既存】:実施済・中	取組みの内容(取組み意図)	下関市の交通課題												
				公共交通の 利便性向上	生活交通の 確保	移動制約者 への対応	人口減少等の進 行を見据えた対応	公共交通の 利用促進	公共交通の 効率化	安全・安心な移 動環境の確保	観光振興の 推進	環境負荷の 低減	まちの賑わ い向上			
A ① 鉄道・路線バスを 軸とした公共交通 ネットワークの 構築	A-1 施策①:路線バス再編	A-1-1 幹線バス路線の再編	・ゾーンバスシステムの導入や駅を中心とした幹線バス路線を再編する。	●	●		●		●							
		A-1-2 循環バス導入の検討	・人口が集中している地域を中心にエリアを循環するバスを導入する。	●				●			●					
	A-2 施策②:交通結節点の強化	A-2-1 乗換拠点の整備検討	・各地域における拠点を中心に、交通結節機能強化(駅広整備等)を検討する。	●			●	●	●							
		A-2-2 駅へのアクセス道路の整備	・駅利用者の安全性・快適性向上に資するアクセス道路を整備する。					●		●						
	A-3 施策③:公共交通の維持	A-3-1 【既存】路線バスの運行補助	・交通事業者が運行している路線を維持していくために、市が補助金を出して支援する。	●	●											
	A-4 施策④:バス走行環境の改善	A-4-1 【既存】バス専用/優先レーンの遵守	・既存のバス専用/優先レーンを遵守する。	●					●							
A-5 施策⑤:新交通システムの導入検討	A-5-1 LRT・BRTの導入検討	・一定の公共交通需要が期待される区間に対して、LRTやBRTの導入を検討する。	●						●							

施策展開の方向性	施策	具体的な取組み 【既存】:実施済・中	取組みの内容(取組み意図)	下関市の交通課題											
				公共交通の 利便性向上	生活交通の 確保	移動制約者 への対応	人口減少等の進 行を見据えた対応	公共交通の 利用促進	公共交通の 効率化	安全・安心な移 動環境の確保	観光振興の 推進	環境負荷の 低減	まちの賑わ い向上		
B ② 市民の暮らしを 支える生活交通 体系の構築	B-1 施策⑥: 利用者の需要に応じ た地域公共交通の導入	B-1-1 【既存】 生活バスの運行	・合併前の地域で運行されていた「生活福祉バス」をベースに、菊川、豊北、豊田地域において運行している市町村運営自家用有償運送のバスを運行する。 ・現在では、豊北地域で定時定路線、豊田地域で予約制、菊川地域で両方の運行形態にて運行している。		●		●								
		B-1-2 【既存】 コミュニティタクシー(栗野地区)の支援	・地域の組織である栗野地区振興協議会が中心となり、地域の需要及び状況に即して運行している乗合タクシーに対して、補助金で支援する。		●		●								
		B-1-3 【既存】 スクールバスの運行(豊田地区)	・学校の統廃合に伴い、通学距離の離れた児童を対象に、豊田地区で市がスクールバスを運行する。		●		●								
		B-1-4 【既存】 市町村有償輸送(外出支援サービス)の導入	・菊川、豊田、豊浦、豊北の区域に住所を有する、寝たきり又は歩行が著しく困難な高齢者又は身体障害者が通院等を行う場合に、移送車両によりドア・ツー・ドアの個別輸送を行う。		●		●								
		B-1-5 【既存】 離島航路の運行	・「竹崎港」-「六連島」間、「吉見港」-「蓋井島」間をそれぞれ結ぶ市営渡船の運航する。		●		●								
		B-1-6 生活バス路線の再編	・現行の生活バスの路線について需要に応じた運行経路や運行形態、運行本数、車両の大きさ等の見直しを行い、生活バス路線を再編する。	●	●	●	●		●						
		B-1-7 地域公共交通の導入	・日常生活に必要な移動に関して、コミュニティ交通の導入、バス停の新設など新たな支援策による移動支援について検討する。	●	●	●	●			●					
		B-1-8 地域公共交通の導入基準(ルールづくり)の作成・運用	・需要に応じた公共交通確保にあたり、地域公共交通の導入に関する考え方やルール等を取りまとめた基準を作成し、地域住民と交通事業者と市が連携して運用を図る。	●	●	●	●	●	●						

施策展開の方向性	施策	具体的な取組み 【既存】:実施済・中	取組みの内容(取組み意図)	下関市の交通課題														
				公共交通の 利便性向上	生活交通の 確保	移動制約者 への対応	人口減少等の進 行を見据えた対応	公共交通の 利用促進	公共交通の 効率化	安全・安心な移 動環境の確保	観光振興の 推進	環境負荷の 低減	まちの賑わ い向上					
C ③ みんなが 安全・安心かつ 快適に外出できる 交通環境の形成	C-1 施策⑦:公共交通利用環境 の改善	C-1-1 【既存】 ノンステップバスの導入促進	・高齢者や妊産婦、障害者等への快適な利用に資するノンステップバスの導入を促進する。	●		●					●							
		C-1-2 バスロケーションシステムの導入検討	・路線バスのリアルタイムの運行情報を携帯電話や情報案内板等で確認できるサービスの提供を検討する。	●				●			●							
		C-1-3 バス停の待合環境整備	・バス利用者の多いバス停を中心に、上屋やベンチ等の設置による待合環境を整備する。	●				●			●							
		C-1-4 交通系ICカードの導入促進	・運賃の支払いが1枚のカードで可能となる交通系ICカードの導入に向けて検討する。	●				●										
		C-1-5 路線バスサービスの向上	・利用しやすい運行ダイヤや路線新設などバスのサービス向上を促進する。	●	●	●		●				●				●		
		C-1-6 鉄道駅施設の改良促進	・鉄道駅において、施設のバリアフリー化など利用しやすい環境整備を促進する。	●								●						
		C-1-7 新駅設置の検討	・駅間距離が長く、かつ、人口集積が高い区間に対して、新駅を設置を検討する。	●		●					●							
		C-1-8 鉄道サービスの向上	・利用しやすい運行ダイヤや運行本数など鉄道のサービス向上を促進する。	●	●	●		●					●			●		
		C-1-9 タクシーサービスの向上	・高齢者や障害者、子育て世代、観光客などが利用しやすいタクシーのサービス向上を促進する。	●				●					●					
		C-1-10 他分野とICカードの連携	・ICカードの機能に関して、商業施設など他の施設で活用できるサービスポイントを付加するようなシステムを導入する。					●										●
	C-2 施策⑧:自転車利用環境の 改善	C-2-1 【既存】 駐輪場利用促進(駅前駐輪場の管理、下関 駅周辺の放置自転車の取締り)	・市内の鉄道14駅にある全21箇所の自転車等の駐輪場の管理する。その内、下関駅周辺の3つの駐輪場は有料。(一時利用の場合、2時間以内であれば無料) ・放置禁止区域、放置抑制区域内に放置された自転車等を定期的に巡回し、放置車両は即日撤去する。									●						
		C-2-2 サイクルバスの導入検討	・バス車両への自転車持ち込みや自転車輸送等、バスに乗りつつ、自転車をバスによって運ぶ仕組みを検討する。						●						●			
		C-2-3 サイクルトレインの導入検討	・鉄道車両への自転車持ち込みを可能とする仕組みを検討する。					●							●			
		C-2-4 サイクルシップの利便性向上	・船舶への自転車持ち込みを可能とするサイクルシップの利便性向上を図る。					●							●			
		C-2-5 自転車走行空間の整備	・自転車の走行空間を明確にする自転車道、自転車レーン等を整備する。									●						
		C-2-6 サイクリングロードマップの作成・配布	・自転車による周遊観光の促進を図るために、自転車利用者用のマップを作成する。											●	●	●		
		C-2-7 駐輪場の新設・改築	・放置自転車を解消するため、駐輪場の設置や改築を実施する。										●					●

施策展開の方向性	施策	具体的な取組み 【既存】:実施済・中	取組みの内容(取組み意図)	下関市の交通課題											
				公共交通の 利便性向上	生活交通の 確保	移動制約者 への対応	人口減少等の進 行を見据えた対応	公共交通の 利用促進	公共交通の 効率化	安全・安心な移 動環境の確保	観光振興の 推進	環境負荷の 低減	まちの賑わ い向上		
C ③ みんなが 安全・安心かつ 快適に外出できる 交通環境の形成	C-3 施策⑨:歩行者環境の改善	C-3-1 歩道の整備、拡幅	・歩行者の安全性向上に資する歩道を整備(拡幅を含む)する。								●				
		C-3-2 ゾーン30	・中心市街地や住宅地等において通過車両の抑制を図るとともに、地区内歩行者等の安全性向上を図るために、ゾーン30(制限速度30km/hを地区として指定)を導入する。								●				●
	C-4 施策⑩:まちのにぎわい創出	C-4-1 レンタサイクルの利便性向上	・レンタサイクルによる観光客などの回遊性向上を図る。									●	●	●	●
		C-4-2 駅周辺でのイベントの開催	・地域と連携した駅周辺でのイベント開催を検討する。									●	●		●
		C-4-3 商店街と公共交通のタイアップ	・公共交通を利用して商店街などで買い物しやすくするための、連携した企画の検討を行う。					●				●			●
	C-5 施策⑪:外出機会の促進	C-5-1 【既存】 身体障害者手帳及び療育手帳の提示による公共交通の割引	・身体障害者手帳や療育手帳などの所持者に対する鉄道、バス、タクシーなどの割引制度引き続き促進する。			●		●							
		C-5-2 【既存】 障害者福祉タクシー	・心身障害者に対するタクシー料金の一部を助成する制度を引き続き促進する。(原則として年間48回以内)			●		●							
		C-5-3 【既存】 いきいきシルバー100	・70歳以上の高齢者を対象として、期間限定で路線バス(サンデン交通株)、ブルーライン交通(株)、下関市生活バス、下関市渡船(六連島、蓋井島航路)を1乗車100円で利用できる制度を引き続き促進する。			●		●							
		C-5-4 【既存】 移動制約者に対する助成制度	・高齢者や学生に対する割引きっぷの設定や免許返納者への割引制度の設置を実施する。			●		●							
		C-5-5 生活バス1コイン化	・生活バスの運賃を一律100円にする。			●		●							
	C-6 施策⑫:公共交通利用者負担の軽減	C-6-1 【既存】 ひとり親家庭のJRの通勤定期乗車券割引制度	・児童扶養手当受給者とその同居者に対して、JRの通勤定期乗車券に限り3割引きで購入できる制度を導入・促進する。						●						
		C-6-2 【既存】 離島住民の介護サービス利用者へ運賃助成	・離島(六連島、蓋井島)に居住する要介護要支援の認定者に対する、介護サービス利用時における渡船運賃の助成制度を導入・促進する。						●						
		C-6-3 運賃体系の検討や割引サービス拡大検討	・乗り継ぎ運賃の値下げ、家族割運賃制度の導入などの検討を図る。			●				●			●		●
	C-7 施策⑬:公共交通と連携した観光振興の促進	C-7-1 【既存】 山陰本線を活用した利用促進	・山陰本線の利用促進を目的とした観光列車等を活用したイベント列車の運行、山陰本線の沿線の魅力を紹介する小冊子の作成・配布等を実施する。						●				●		●
		C-7-2 【既存】 割引切符や企画切符の周知・拡充	・関門”ノスタルジック”海響バスチケットのような、不定期でのイベントと組み合わせた割引乗車券の企画、発行を促進する。 ・休日おでかけ1dayバス、関門周遊パスポート、しものせき観光1日フリー乗車券、海峡散策きっぷを引き続き促進する。						●				●		●
		C-7-3 観光客に特化した移動支援	・市内の観光地を循環するバスの導入することにより、観光客の回遊性向上を図る。						●				●		

施策展開の方向性	施策	具体的な取組み 【既存】:実施済・中	取組みの内容(取組み意図)	下関市の交通課題										
				公共交通の 利便性向上	生活交通の 確保	移動制約者 への対応	人口減少等の進 行を見据えた対応	公共交通の 利用促進	公共交通の 効率化	安全・安心な移 動環境の確保	観光振興の 推進	環境負荷の 低減	まちの賑わ い向上	
D ④ 自動車依存から 公共交通利用への 転換を図るための 活動の実施	D-1 施策⑭:公共交通利用の促 進	D-1-1 パーク&ライド、キス&ライドの推進	・鉄道やバス利用時の端末交通として、自動車の利用を推進する。					●				●		
		D-1-2 サイクル&レールライド、サイクル&バスラ イドの推進	・鉄道やバス利用時の端末交通として、自転車の利用を推進する。					●						
	D-2 施策⑮:環境負荷の低減	D-2-1 【既存】 ノーマイカーデーの実施	・通勤手段をCO2負担が大きい自動車から、負担の少ない公共交通機関(鉄道・バス)や自 転車・徒歩などの地球にやさしい通勤手段へ切り替えていくための啓発活動。毎月第3金曜 日。					●		●		●		
		D-2-2 低公害車の導入	・地球温暖化ガス排出の少ない、環境にやさしい車両を導入する。										●	
	D-3 施策⑯:意識啓発イベントの 実施	D-3-1 【既存】 交通安全教育等の実施	・交通安全に関するイベント、キャンペーンを実施する。 ・自転車安全運転者証交付事業など、自転車利用者に加え、歩行者や自動車利用者に対す る安全性向上を目的に、自転車利用者のマナーアップを図る。							●				
		D-3-2 公共交通に関するイベントやキャンペー ンの実施	・祭りやマラソンといった催しとの連携や、駅やバス停の清掃活動を通じて、公共交通への意 識を向上させる。					●						
		D-3-3 モビリティ・マネジメントの実施	・意識を変えるモビリティ・マネジメントを、地域住民や企業、小中学生等を対象に実施する。					●						
	D-4 施策⑰:交通に関する情報提 供	D-4-1 【既存】公共交通マップの作成・配布(JR山 陰本線、関門シティ)	・利用者の減少が特に著しい山陰本線について、PR時刻表やPR動画を作成するなど利用促進を実施する。	●					●			●		●
		D-4-2 【既存】 まちナビ下関の発信	・主な駐車場や位置、空き状況、公共交通機関や市の観光情報サイトへのリンク等、下関市 の街なかをより移動しやすくするための情報を発信する。	●					●					
		D-4-3 総合案内情報の発信検討	・市内の公共交通の情報を集約した情報板の設置やパンフレットの作成などにより、情報を 発信する。	●					●					
		D-4-4 インターネットにおける公共交通事業のPR	・市における公共交通に関する情報を一元的に発信し、単に利用するだけでなく、興味を持っ てもらうような情報を発信する。	●					●			●		
		D-4-5 トータルナビ事業者との連携強化	・トータルナビ事業者と連携して、公共交通の乗り継ぎ案内等の情報を発信する。	●					●					
	D-5 施策⑱:公共交通ニーズの把 握	D-5-1 市民へのアンケートの実施	・公共交通に関する市民アンケート等を随時実施し、市民の交通に関する意向を把握する。						●					